

ケーブル前処理

1. 遮蔽用ホイルを切らないように、外被をむきます。外被をむいた部分から約25mm遮蔽用ホイルを残します。(図1参照)
2. 遮蔽用ホイルを傷つけないように折り返します。折り返した部分を約9.5mm残します。(図2・3参照)
3. ドレイン線も折り返します。プラグに挿入する際に、ドレイン線がストレーンリリーフ側ではなく、タブ側になるよう注意してください。(図4参照)

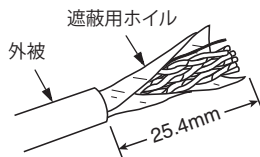


図1

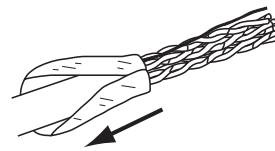


図2

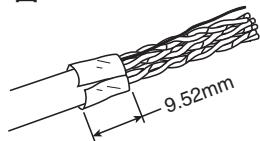


図3

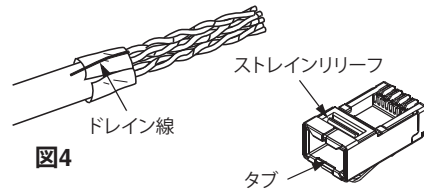
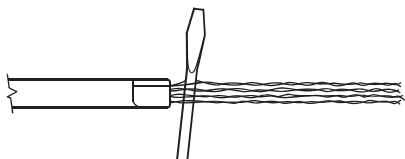


図4

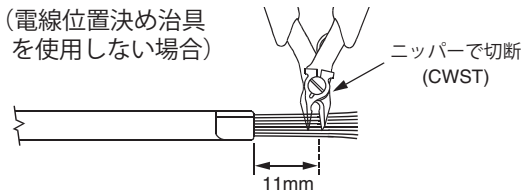
結線仕様 挿入順番表		
	T568A	T568B
1	白/緑	白/橙
2	緑/白	橙/白
3	白/橙	白/緑
4	青/白	青/白
5	白/青	白/青
6	橙/白	緑/白
7	白/茶	白/茶
8	茶/白	茶/白

4.



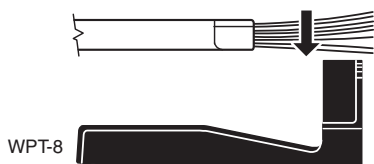
外被覆端を25.4mmほど剥き、導線の撚りを真っ直ぐに伸ばす。外被覆の中まで撚りを戻さないこと

4a. (電線位置決め治具を使用しない場合)



左の挿入順番表を参照しながら導線の順番を整え、外被覆端から11mmの所で導線を切断する

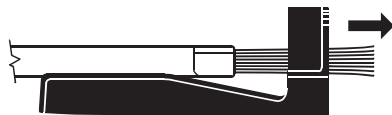
4b1. 電線位置決め治具(WPT-8)を使用した場合



WPT-8

上の挿入順番表を参照して導線の順番を整え、一列にして上から挿入

4b2.



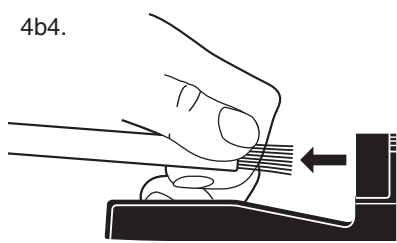
外被覆を治具まで引き寄せる

4b3.



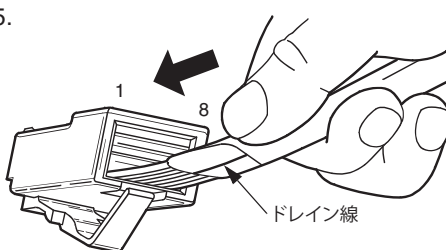
図のようにニッパで余分な導線を切断する

4b4.



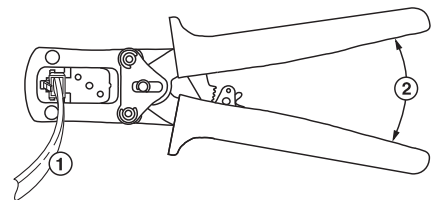
図のように挿入順番が入れ替わらないように指で押さえながら治具から抜き取る

5.



図のように導線を挿入する側を手前にし、ラッチ部を下に向けて左側を1番ピンにする。挿入順番を確認して、慎重にしっかりと奥まで挿入する

6. 圧着工具 (MPT5-8AS)



1. プラグを工具に装着する
2. ハンドルを引き寄せ、ロックが解除されるまで適度な速さで強く握りしめる
3. 成端の仕上がりを確認する

注意事項

1. 成端には圧着工具 (MPT5-8AS) を使用してください。
2. 導体絶縁径が0.89mm~1.02mmまでの24~26AWGの単線および撚り線を使用できます。
3. TIA/EIA 568C施工ガイドラインに沿った施工を行ってください。

全てのワイヤリングアクセサリと同様に、下記の概念に従ってください。

1. 雷や嵐の中では通信ケーブルの施工は行わない。
2. 特に水場で使用できるように設計されたコネクタを除き、濡れた場所での通信ケーブルの施工は行わない。
3. 通信ラインがネットワークインターフェースから切り離されている時以外は、導線や端子を手で触れない。
4. 通信ケーブルの施工や修理の際には警告文をよく読み、行ってください。

技術的なお問い合わせ
バンドウイト カスタマーサービス

PANDUIT
http://www.panduit.co.jp/

E-mail:
jpn-toiawase@panduit.com

Tel:
03-6863-6060